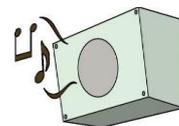




◆あいさつの話（あいさつは相手の1秒先手とれ！）と時の記念日の話 ～ 6/2 全校朝会

新型コロナウイルス感染防止の一環として、一学期中は、全校児童を集めて行う行事については自粛する方向で学校運営を進めているところです。

そこで、6月2日（火）の本年度第2回目となる全校朝会についても第1回目と同様、校内放送にて実施いたしました。今回は、学校が再開して2週間が過ぎ、この2週間の子ども達の学校生活を見て感じたことについて、2つの話をしました。



<あいさつの話～あいさつは相手の1秒先手とれ！>

日本語で一番元気が出るあいさつは「おはよう」です。「おはよう」と言えば、相手も自分も元気になります。次に、日本語で一番美しいあいさつは「ありがとう」です。「ありがとう」と言えば、心がきれいになります。皆さんは、まず、この2つのあいさつを特に大事にしてほしいと思います。



では、「おはよう」のあいさつについて、もう少しお話しをします。校長先生は、毎朝校門で、皆さんとあいさつをしています。すると、遠くの方から元気にあいさつをしてくれる人がいます。中には、立ち止まってあいさつをしてくれる人がいます。眠いのに、笑顔であいさつをしてくれる人もいます。本当に素晴らしいですね。実は、校長先生は皆さんと朝、あいさつをするときに目標を立てています。それは「皆さんより先に、あいさつをする」という目標です。ところが、古枝小学校には、校長先生よりも「先にあいさつ」をしてくれる人がいます。そんな時は、いつも以上に嬉しい気持ちになります。そして、「よし、明日はその子よりも先にあいさつをするぞ」と心の中でこっそり思っています。皆さんはどうか。校長先生より先にあいさつができていますか。校長先生だけでなく、先生達や友達にも自分からあいさつができていますか。

古枝小学校には、こんな貼り紙が貼ってありました。 **あいさつは相手の一秒先手とれ！** これは、あいさつは、人よりも先にしてこそ価値がある、という意味です。古枝小学校の子ども達は、この張り紙を校内のあちこちに貼って、あいさつを競い合っ取り組んできました。ですから、古枝小は、とても元気溢れる学校になりました。今でもそうです。そして、これからもそうでありたいと思います。皆さんの力で、先輩達がつくったこの伝統を大切に守り、つないでいきましょう。

<時の記念日の話～時刻を守る、時間を大切にしよう！>

日本の国では、6月10日を「時の記念日」に定めています。では、「時」とは何でしょう。それは、「時刻」と「時間」のことです。そして、皆さんが人として生活する上でとても大切なことがあります。それは「約束の時刻や時間を守る」ということです。たとえば、全校朝会を始めるのに、あるクラスが遅れるとどうなるでしょうか？ 全員が待たなければなりません。全員に大きな迷惑を掛けることになります。授業もそうです。2時間目が「9時40分」に始まるのに、外で遊んでいて教室に入らないお友達がいると、勉強する時間は「45分間」はないのです。今日の話を通じて、「時」についてよく考えてください。

さて日本では、なぜ6月10日を「時の記念日」にしたのでしょうか。それは、今から1300年ほど前の話です。その頃の日本は、天智天皇という方が国を治めていました。当時は時計もありません。もちろんテレビやラジオがあるわけがありません。「〇時に遊ぼう」とか「〇時に集合しよう」とか、約束ができなかったでしょうから、大変不便だったと思います。そんな時、天智天皇が日本で初めて「水時計」をつくって時刻を計り、鐘を鳴らしてみんなに知らせた、という記録が昔の古い本に書かれています。

そして、その日が6月10日であったということで、日本は6月10日を「時の記念日」に決めました。

さて皆さん、時刻や時間はどんどん過ぎ去っていきます。「今」という時は、2度と来ないのです。たとえば、2020年6月2日（火）の8時45分という時刻は、一生に一度しかありません。また、校長先生が今、皆さんに話をしている時間も、一生に一度しかありません。このことをしっかりと心にとめて、自分のためにも、みんなのためにも、時刻を守り、時間を大切にしよう心掛けてください。



◆ 第2弾 2020. 地域と共に創る学校づくり ～ 心豊かな古枝っ子を目指して

（裏面へ）

< 5年米作り体験Ⅱ >

① 5年代かき体験（6月16日 火曜日）

5年生は、この日、5・6時間目を使って「代かき体験」を行いました。子ども達は水着に着替えて、水が一面に張られた田んぼの中に思いっきり入り、田んぼの泥の感触を味わいながら、全員で鬼ごっこをしたり、リレーをしたりして遊びました。子ども達の泥まみれになった顔は笑顔に弾け、5年生の楽しい思い出の一日となりました。



② 5年田植え体験（6月19日 金曜日）

5年生は、この日、5・6時間目を使って「田植え」に取り組みました。この日は、ややひんやりとした曇り空で、絶好の田植え日和となりました。また今年も、新型コロナウイルス感染予防の観点から、子ども達と限られた地域の皆さんのみで行いました。

まず、子ども達は、自分達で育てて約20cmに生長した苗を田んぼまで運びました。そして、二手に分かれて、田んぼに横一列に整列し、田植えを始めました。まずは、米作りの先生から田植えの仕方を習います。子ども達は、苗を3本ほど取って、ロープに付いている赤の目印のところに植え付けていきました。はじめは、手つきがぎこちなく、苗を植えるのに時間がかかっていましたが、時間が経つにつれて徐々にコツをつかみはじめ、途中からは要領よく上手に植えることができるようになりました。田植えは、地域の皆さんの協力を得ながら、1時間半ほどで終了しました。子ども達は、自分達で田植えをし終えた田んぼを見ながら、やり遂げた満足感で笑顔がいっぱいに弾けていました。



< 4年ホタルの放流体験 >

③ 4年ホタルの放流体験（6月17日 水曜日）

4年生は、総合的な学習の時間を使って環境学習に取り組んでいます。その一環として、子ども達は、門前商店街の河浪さんのご指導の下、5月末からゲンジボタルのつがいを飼って、産卵させ、卵を孵化させて幼生を育てました。そして、この日3・4時間目を使って、みんなで育てたホタルの幼生を牛乳パックに一人200匹ほど入れて、祐徳神社のすぐそばにある山祇神社の前の浜川に放流しました。

子ども達は、放流した幼生達が、この浜川で大きく育ち、来年の初夏の頃には、成虫のホタルになって美しい光を放ちながら、浜川の川辺を飛び交う様子を思い浮かべていました。



【河浪さんの話】



【放流する子ども達】

< 古枝出身の洋画家 乗田貞勝 先生の画集をいただきました! >



← 古枝小の校章

④ 画集「命の道」寄贈（6月1日 月曜日）

この日、古枝大村方出身の洋画家 乗田貞勝先生の実兄である乗田貞麒様が来校され、この度、発刊されたばかりの乗田貞勝先生の画集「命の道」を古枝小学校へ寄贈されました。この画集は5/26付け佐賀新聞でも大きく紹介されました。画集には、乗田先生が、バリ島やネパール、ヒマラヤなど世界各地を舞台に、鮮やかな色彩と練達の情景描写で、自然の命の輝きを見事に表現された素晴らしい作品がたくさん載っていて、大変見応えのある一冊となっています。誠にありがとうございました。

また、**乗田先生は古枝小学校の校章を作られた方**で、本校にとって大変ゆかりのある方です。本校の玄関にも、寄贈していただいた乗田先生の絵画が飾られています。子ども達には、古枝小学校の先輩に、このような素晴らしい洋画家の方がいらっしゃることをあらためて紹介いたしました。



【画集「命の道」】



【画集を見る子ども達】